

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

連番	1241	例会No.	一般 837	内容	播磨アルプス・高御位山(304m)	実施年月日	2024/11/3	担当者	森本(善)、山倉(康)	
参加者	上野、中村、佐野、花田、山田、谷、池田、樋口(体験参加)								参加者数	10
担当者コメント	<p>8:46宝殿駅着 今回は、西の辻登山口から太閤岩、頂上を経由して東峰、吉野神社登山口への14Kmの低山縦走です。又EPE初参加の方と体験参加の方を交えての山行です。</p> <p>9:00 登山口からやや急な斜面を20分ほど登ると鉄塔のある尾根上に出る。ここからは高御位山山頂を望むことができ、さわやかな風を受けながら登る。途中、太閤岩にて休憩(戦国時代、志方城攻めの時に羽柴秀吉がこの岩に座って戦場の眺め軍兵の采配をとっていたと云わる)。その後登りを繰り返しながら頂上に向かう。時には若干スリルを味わう岩の斜面を登ったり細い尾根上を歩く。久しぶりに眺めの良い山登りです。低山とは思えない登山道からの眺望は素晴らしく、高御位山頂上や遠く瀬戸内海や家島諸島、小豆島(たぶん)、そして播磨平野も眼下に望むことができました。</p> <p>11:30 高御位山頂上着。頂上は細長い大きな岩棚のような場所で、標高304mとは思われない高度感のある頂きです。又、高御位神社があり、家族連れのグループや若い男女等が頭を下げ手を合わせていました。グループ毎にお弁当や、ガスコンロで楽しそうに食事タイムをしています。相変わらずの快晴、涼風の中頂上より東峰P264(鷹ノ巣山)に向かい、その後別所奥山、北宿山を越え下山を始める。各参加者はここに元気がいっぱい低山を満喫しています。</p> <p>14:30 そのうち、車の音や電車の音、人声が聞こえだした頃、日吉神社着。高御位山は低山とは思えない眺望と、時折岩稜があったり、海を眺めながら穏やかな尾根を歩いたりと変化に富むルートです。日吉神社にて解散する。</p>									
連番	1242	例会No.	OP 397	内容	大台・迷岳	実施年月日	2024/11/4	担当者	小椋(勝)、杉本	
参加者	上野、大森								参加者数	4
担当者コメント	<p>松坂市飯高町旧スモールワンワン広場下部の駐車場に車を止め唐谷川左岸の登山口から登り始める。川沿いに少し歩き尾根に向かって登り始めるといきなり急登。息を切らせながら尾根に向かっての登攀。やっとの思いで尾根に出ると目の前にP809mピークが現れる。ここが第一のピークだ。ピークに向かって岩稜を慎重に登り始める。ラクダの瘤のようなピークを過ぎると一気に下降しコルから見上げると第二のピークP930mが現れる。うんざりするが気を取り直して登り始めるがここも岩稜帯だ、ルートを確認しながら登攀しピークを踏むとまた下降する。それにして一つ一つのピークが急登で目の前に現れるとうんざりする。いくつかのピークを過ぎ唐谷川ルートとの出会を通過するとなだらかな牛の背のような尾根を歩き最後の急登を登ると迷い岳に着く。休憩をして下山する。下山ルートは唐谷川ルートを下山する。こちらは登攀ルートほど岩稜帯はないが数か所の渡渉がある。先日来の雨で少し水量は多いが十分渡渉できる。谷筋から長い林道を歩き振り返るとラクダの瘤のようなピークが見えるあれを登って行ったのか、などと話しながら登山口に向かう。登山口で解散し榛原の駅に向かった。</p>									
連番	1243	例会No.	OP 398	内容	鈴鹿・鞍掛峠～霊仙山	実施年月日	2024/11/9~10	担当者	杉本、前田	
参加者	上野、大森								参加者数	4
担当者コメント	<p>11/9 鞍掛トンネル西口でタクシーを降りると駐車場は御池岳方面に登る人たちと思える車で満杯になっていた。駐車場にいた人の話では皆さん紅葉を目当てに来ているようです。鞍掛峠まで登ると御池岳から下山してくる人達とすれ違う。私たちは今晚の宿泊地の五僧峠に向けて北へ行く。途中で二人連れにあったが縦走する人はいないようで道は踏み跡程度になって消えている所もあり下りになるとすっかり地図を確認しないと予定ルートから外れてしまう。このルートは急登、急下降が連続し特に東ヨコネの登りはルートが消えて藪状態で結構疲れる五僧峠まであと少しの気持ちも手伝って今日一番のしんどさだ。15時40分頃に五僧峠に到着しここでテントを張る。五僧峠の五僧は五人の僧がすみついたのでこの名が生まれたそうです。また関ヶ原の合戦に敗れた島津義弘が通ったので島津越ともいわれています。最近テレビでも放映されたので島津の紋章の幟も立ててあった。今は廃村になって朽ちた家屋があるだけとなっている。11/10今日は霊仙山に向けての尾根道になる。五僧峠からいきなり急登になり、上り下りが連続する。一山二山を越えてもほとんど高度を稼げない。今日のルートは昨日以上に踏み跡がない。尾根上を忠実にたどらないととんでもない所に行ってしまう。下りは地図とのにらめっこだ。少し下っては地図を確認し少し下っては地図を確認する連続で、なかなか進まない。750m位の高度からは急登ながら順調に高度が稼げてやっとな谷山のピークに着く。4丁横崖付近に霊仙山周辺で数カ所かけ崩れが発生し通行止め箇所があると注意板が掲げられていた。雨が降り出し風も強くなってきたので避難小屋に入る。13時10分霊仙山に到着。ガスで何も見えない。下山ルートは西南尾根を予定していたが、強風と疲労が重なって汗ふき峠経由で今畑に下山とした。今畑まで降りたもののタクシーを呼ぶにも携帯の電波が届かないので、電波の届く所までと歩いていると下山してきた方の車に彦根駅までありがたく便乗させてもらいました。ありがとうございました。</p>									
連番	1244	例会No.	一般 838	内容	京都一周トレイル(東山コース2<伏見稲荷駅・蹴上ルート>)	実施年月日	2024/11/10	担当者	飛田、野原	
参加者	池田、岩本、佐野、島野								参加者数	6
担当者コメント	<p>伏見稲荷は前回同様九割以上がインバウンド観光客でごった返していました。四ツ辻から稲荷山(233m)登頂ラウンドコースの逆回りとなる東山コース<伏見・蹴上ルート>に入りました。11月初旬に入ったにも拘わらず紅葉は望むべくもなく秋空だけが高く澄み渡って心地よい風を感じながら古都の外郭を泉涌寺-京女鳥部の杜-清水山-東山山頂公園と結び栗田口の仏光寺山門前で解散となりました。読図は、磁北線、コンパスの使用法、緯度・経度の読み取りと距離の換算読み取り及び所要時間予測を課題地図とGPS情報を元に算出していただきました。</p>									
連番	1245	例会No.	一般 839	内容	金剛・葛城4	実施年月日	2024/11/17	担当者	西村(晶)、山倉(康)	
参加者	上野、山倉(知)、峯岡、山田、佐野、安岡、中山、原(康)、原(正)								参加者数	11
担当者コメント	<p>今回は大和葛城山から二上山までのロングトレイル山行の4回目です。岩湧山から金剛山を登り大和葛城山から二上山までの金剛山地の縦走登山です。葛城ロープウェイ登山口から新しく整備されたくじらの滝コースを登り大和葛城山に、山頂は枯れススキが広がっており多くの登山者で賑わってました。二上山までは先が長いのでゆっくりしていられないので早々に出発しました。岩橋山までは大きな登りは無いのですがアップダウンの続く山道が続きます、岩橋峠より標高差100Mの急階段を登りきれば後は緩やかな山道を一步一步登れば二上山の頂に辿り着く事が出来ました。桜の咲く滝畑ダムから始まり、新緑のタンボ山を歩き、10月なのに汗だくで歩いた金剛山、ロングトレイル山行は楽しさがいっぱいです。</p>									

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

連番	1246	例会No.	一般 840	内容	二上山	実施年月日	2024/11/23	担当者	森本(善)、前田	
参加者	有永、谷、岩本、中原(俊)、中原(正)、大森、山倉(知)、駒井、三原、中山、黒澤								参加者数	13
担当者コメント	<p>8:46晴天の中、当麻寺駅から當麻寺山門までひんやりとした空気の中、一直線に続く参道を土産物店や趣のある旧家の庭などをウインドショッピングしながらのんびりと歩く。境内をぬけ、山口神社そしてカモが群れている大きなため池の堰堤沿いを歩き祐泉寺に着く。門前の楓は未だ色づいていないが、寺の裏山は紅葉していました。寺から40m~50m元来た道に戻ると、大岩コースの登り口があり、汗をかき始めたころに大岩に着く。それまでは森のなかを登っていたが、岩頭に立つと大和三山を眼下に奈良盆地が眺められほっと一息つく。ここでゆっくり休憩し、雄岳に向かう。傾斜は徐々にきつくなり、しんどいなと思った頃、二上神社口からの登山道と合流する。その後大津の皇子の古墳を眺め、歴史に造詣の深い会員から皇子の話に耳を傾ける。ちなみに大津の皇子はとっても美男子だったとのこと。雄岳頂上を通過し、馬の背へ降り雌岳へ登り返す。雌岳頂上は多くの登山者でにぎわっていました。奈良県側に少し下った四阿にて昼食休憩。四阿の前には鳥の餌台があり、小さな女の子が手のひらに餌をおき真剣な顔つきで前に掲げていると小鳥(おそらく、しじゅうがら)がその手のひらに乗り餌を啄ばんではサッと飛んで行く。なんともほほえましい眺めです。天気は良いのですが、気温が低く、参加者は薄手のダウン、ウインドブレーカ等を着込んでいました。再度雄岳と雌岳の間にある馬の背に戻り、祐泉寺に向け降り出す。沢と深い木々の間を下っていくとす暗い木々の中に見上げるほどの大きな銀杏の大木があり、梢の方は黄色く色づき、根元にはまばらな黄色い落ち葉が敷かれていました。暫く歩き登り口である祐泉寺に12:10着。帰りも同じ道をたどり、カモが羽を休めているため池、ため池の向こうには奈良盆地が池越しに眺められました。12:50 當麻寺着、ここで解散としました。</p>									
連番	1247	例会No.	OP 399	内容	大峰・迷ヶ岳・弥山・八経ヶ岳	実施年月日	2024/11/23~24	担当者	小椋(勝)、榊田	
参加者									参加者数	
担当者コメント	中止									
連番	1248	例会No.	一般 841	内容	ベーシック登山No. 79鞍馬~貴船神社	実施年月日	2024/11/24	担当者	翁長、野原	
参加者	砂山、石上、中嶋、西向、中川、西田、長谷川、島野、中原(俊)、中原(正)、西村(晶)、池田								参加者数	14
担当者コメント	<p>「鞍馬エリアの中心となるのは『鞍馬寺』で、1200年以上の歴史をもち、史実との関わりや多くの伝説が残る寺院です。パワースポットでも知られ、現在も多くの人を訪れています。」のように観光案内に記されています。という事で行って来ました。出町柳から鞍馬までは叡山電車に乗るのですが、この電車は粋な事をしてくれます。もみじトンネルと云われる所にさしかかると、速度を落とし紅葉を楽しませてくれました。鞍馬参道の入り口から仰ぎ見るように仁王門が構えている。ここから聖域になり本殿金堂まで石段が続く。すぐに出会った大木にびっくりする。ご神木の杉と云われ、高さは53mとの事。石段を登っていると何かを感じるものがありました。信仰心の薄い私ですが・・・これがいわゆるパワースポットと云われるものなのかも? 「鞍馬」と云えば由緒ある神社仏閣がたくさんありますが、牛若丸や鞍馬天狗のほうに私には馴染みがあります。義経公供養塔、剣術修行場への途中に飲んだ「息つぎの水」(今日は水は流れていなかった)、奥州へ下るときに訪れた「背くらべ石」と興味がわきました。鞍馬から貴船神社に下って驚いた。人と車で大混雑。紅葉を期待していましたが、数本のみじが紅葉していただけで全体的には、いま一つという感じ。今回、一番の紅葉は叡山電車から見た「もみじ」でした。</p>									
連番	1249	例会No.	一般 842	内容	六甲・石楠花山	実施年月日	2024/12/1	担当者	前田、西村(晶)	
参加者	岩本、島野、中原(俊)、駒井、大森、佐野、山崎、山田、原(康)、原(正)、山倉(康)、池田								参加者数	14
担当者コメント	<p>谷上駅をスタートして、日陰の住宅街を歩いた。20分程行ってから薄暗くて寒い炭ヶ谷を登って行く。谷を登り詰めて尾根に出た。林道を少し入った所が石楠花山の山頂で三角点があったが、藪の中でわかりにくい。その先の展望台で休憩をした。そこから黄蓮谷を下って、トレンチクロスまで来ると人が多くなってきた。天気が良く暖かいので、河原で昼飯にした。河原から分水嶺越えて、整備された再度公園へ入った。紅葉がちょうど見頃だった。秋になっても暑い日が続いたので、紅葉も遅くなってきたのか。その先の再度山へ登った。山頂から神戸港が見えた、人が多いので直ぐに大龍寺の方へ下った。大龍寺のイチヨウの木も紅葉してきれいだった。その後谷沿いの大師道を一気に下りて元町駅で解散した。今日は高い山は登ってないが、谷を登り、尾根を歩き、海を眺め、紅葉を愛でて変化のあるコースでした。</p>									
連番	1250	例会No.	OP 400	内容	西多紀アルプス・向山 プラスアルファ No.31ボタン鍋	実施年月日	2024/12/7~8	担当者	杉本、有永	
参加者	大森								参加者数	3
担当者コメント	<p>12月7日 JR石生駅の駅前に『日本一低い谷中央分水界の通る街「生郷」』の案内図が立てられている。この分水界で日本海と瀬戸内海に水が分かれるようです。今回の登山ルートはこの分水界を辿る。駅からすぐに向山連山の最高峰向山に向けて、標高600mにも満たない里山特有の樹林の中の直登が待っている。二の山のピークの少し手前に滝山古墳の標識があり1600年前の古墳時代のものらしいです。ルートの途中にはあちらこちらに展望所があり西側の氷上町が一望のもと見渡せる。向山のピークでは北側が切り開かれて春日町方面が広く見渡せる。この先読み方が変わったピークが出てきます。蛙子峰(がえるご)、梅塚(うめのきょう)などです。譲葉山のピークには譲葉神社のお社が建てられていましたが、残念ながらご神体のおられない空き家となっていました。ここから譲葉神社の参道と思われる道を柏原へと尾根道を下って行くと小学校の校庭に出ました。ここは明治6年藩学校崇広館として開校された由緒ある崇高(すうこう)小学校でした。夜は「ユニトピアささやま」でごちそうのボタン鍋をいただき今日の疲れを癒しました。12月8日 今日は昼から雨の予報が出ていたので予定していた佐仲峠から三尾山往復をキャンセルし直接譲葉山に行くルートにしました。佐仲峠までは石畳みの道で春日町に通じる昔から峠道のようなです。瓶割峠まではたくさんの落葉で踏み跡が消えていてピンクのテープがいたる所に巻かれて案内板の役目になっています。瓶割峠は東と西があり、東は600人も近在の村人たちによって開かれた峠と石に刻まれていました。西は県道として人が通れるだけの道になっています。ここから10分で主尾根に出ても道は相変わらず落葉だらけです。2時間弱で昨日の下山地点の譲葉山に到着。あとは昨日と同じ尾根を下り途中で雨も降りだし、大安寺観音堂を経由しJR柏原駅で解散としました。</p>									
連番	1251	例会No.	一般 843	内容	六甲・ごろごろ岳	実施年月日	2024/12/8	担当者	山倉(康)、野原	
参加者	森本(善) 池田 上野 原(正) 原(康) 岩本								参加者数	8

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

担当者コメント	<p>9時10分阪急甲陽園駅に降り立つ、平日は学生さんが多く下車する駅ですが日曜日朝の駅前には閑散としています。挨拶を済ませ閑静な住宅街を北山公園を目指し急こう配の車道を15分ほど歩き銀水橋から北山公園経由で甲陽園の邸宅が並ぶ道路を経由し9時北山貯水池に出て一休み。大きなマットレスを担いだ青年が一人、北山公園を目指すボルダラーのようです、公園内には巨大な花崗岩の石が点在しておりボルダリングのメッカとなっています、私も20代のころ訪れた記憶があります、池の西側から鷲林寺へ近道がありますが今日はバリケードで閉鎖されているので東側から北側の甲山側を迂回して鷲林寺を目指して車道を行く、9時45分お寺の手前から登山道となり30分ほど登ると観音山に着きました。ここは展望がよく伊丹空港や仁川の阪神競馬場が見えます、はるか南東方向には少しかすんでいますが大阪市内のビル群、生駒山から二上山、葛城山、金剛山まで眺められました。ここからは多少起伏のある展望の利く稜線を行き11時10分今日の目的地ゴロゴロ岳に着きました、山頂付近の西側は開発されて住宅地がありちょっと興ざめするところです。ゴロゴロ岳の名前の由来ですが、阪神淡路大震災までは標高565.6mでしたが震災の影響で現在の地図表記の565.3mになったと言われています(しらんけど)。昼憩は15分ほど先の展望の良いところまで行ってとりました、下山路はここから境界尾根を忠実に辿り前山公園経由で12時30分阪急芦屋川駅で解散としました。</p>									
連番	1252	例会No.	一般 844	内容	裏六甲山・座頭谷アイゼンワーク	実施年月日	2024/12/15	担当者	飛田・森本(善)	
参加者	池田、大森、上野、佐野、島野、中山								参加者数	8
担当者コメント	<p>蓬莱峡への従来からのアプローチが不可となり、年末に向けて混雑も考慮して座頭谷大堰堤上部の新たなアイゼンワークのグレンデを開拓しました。大堰堤への水が伏流水となる少し上部の左岸沿いのグレンデです。アイゼン用の爪の数は4, 6, 12と多彩ならピッケル、ストックもありと実にユニークなアイゼンワークとなりました。実際の雪の山を想定した装備を期待していましたが、アイゼン装着の難しい夏靴のままのであったり、スパッツは忘却の彼方でした。雪山にチャレンジするなら実技講習だけではなく座学講習の必要性を感じた一日でした。</p>									
連番	1253	例会No.	一般 845	内容	ベーシック登山No. 80 京都・左大文字山	実施年月日	2024/12/22	担当者	山倉(康)	
参加者	森本(善) 森本(咲) 安岡 島野 佐野 大森 上野 岩本								参加者数	9
担当者コメント	<p>京都左大文字山迷走登山 主担当の野原さんが参加できないため私一人で実施しましたが事前調査不足で迷走登山となりました。金閣寺道バス停までは順調に到着し、いざ左大文字の火床を目指して出発、地図に従って行くと何か修道院のような、養護施設のような門の中からのようです、ちょっと躊躇して少し北側にも地図では道がありそうなのでそちらへ向かいました、しかし民家に遮られて結局元の施設内に侵入しましたが登山道の入口はフェンスと南京錠で閉鎖されて立ち入り禁止の札がかかっています、少し上の修道院に入って鍵のない扉から侵入しましたが、登山道の両サイドは鉄条網で遮られています、潜り抜けも可能のようですがちょっとヤバそうな状況なので大文字をあきらめ衣笠山へ転進することとしました。金閣寺の南側を西側へ回り衣笠山の入口を発見、金閣小学校のグランド脇から登山開始しました、登り口の祠脇を抜けて登りますがここにも(私有地につき立ち入り禁止)の看板があります、無視して登ること約30分で10時30分衣笠山着、ここで出会った人から左大文字の情報を入手し西側コースからなら登れると聞いて再度転進、衣笠山登山口から金閣寺西側を回り込むように登ると難なく11時55分左大文字に登頂出来ました、結局左大文字の北東部から、金閣寺を絡めて時計周りにはほぼ1周したことになりました、鷹ヶ峰と鷲ヶ峰は割愛して同じ道を下山し金閣寺前から西大路通りを南下しながら本日開催の全国高校駅伝を見ることにしました、円町交差点まで下ったところで13時40分解散し最終区間を走る元気な高校生を応援してきました。今年最後の例会で迷走してしまいましたが、これに懲りず来年も多数参加していただきます様お願いします。</p>									
連番	1254	例会No.	一般 846	内容	金剛山	実施年月日	2025/1/5	担当者	西村(晶)、山倉(康)	
参加者	佐野、安岡、中原(俊)、池田、大森、島野、花田、榊田、三原、木下、中原(正)、前田、森本(善)、中村、祓川								参加者数	17
担当者コメント	<p>登山口より少し歩いて黒梅谷道のゲート前で新年の挨拶とルート説明を行う。防寒着を着けなくてもそんなに寒さを感じない気温です、冷たい風も吹いていません。セトより稜線伝いに登ると国見城跡付近は白くなっていましたが、周辺の木々は黒々として霧氷は望めませんでした。穏やかな山頂広場で昼食後に久留野峠方面に向けて下りました。寒波到来が待ち遠しいです。</p>									
連番	1255	例会No.	一般 847	内容	新年ハイキング・学文峰	実施年月日	2025/1/12	担当者	前田、西村(晶)、山倉(康)	
参加者	有永、池田、石上、岩本、大森、上野、翁長、河合、喜多田、木下、古松、近藤、佐野、島野、砂山、谷、中川、中嶋、中原(正)、中原(俊)、中村、西田、西野、西向、西村(美)、祓川、附野、保木、實操、三原、村木(正)、森本、安岡、和田								参加者数	37
担当者コメント	<p>小さな千早口駅前にEPE37名が集合した。新年の挨拶や久しぶりに会う人達の会話で賑やかである。点呼の後、駅前をスタートして、国道を渡り農道を行った。途中 地藏寺の屋根に雪が残っていたが周りには雪がなく、心配していたアイゼンが要らないようだ。農道のトンネル手前から登山道に入った。1列になって歩くと、長い列になり後ろが見えない。30分程でジルミ峠に着いた。大勢の人で狭い峠が一杯になった。その後、尾根道を30分程の登りで学文峰に着いた。山頂から南海高野線を挟んで反対側に尖った旗尾山(天見富士)が見えた。その奥に三角錐の雪の積もった金剛山が雄大に見えた。どーんと構えていて、やっぱりこの辺の主峰である。ここから下って登ってを繰り返して、井谷ノ峰手前から流谷へ下った。流谷に下ると日当たりがわるいのか、一面雪が残っていた。途中の流谷八幡神社の広場で昼食にした。賑やかにしゃべったり笑ったり、楽しく過ごした後、天見駅までのんびりと歩いた。25年度最初の山行は、天気恵まれ、穏やかで良いスタートが切れました。</p>									
連番	1256	例会No.	新年会	内容	河内長野荘	実施年月日	2025/1/12	担当者	小椋(勝)、榊田、杉本、森本(善)	
参加者	有永、池田、石上、岩本、大森、上野、小椋(美)、翁長、河合、喜多田、木下、古松、近藤、佐野、島野、杉山、砂山、谷、中川、中嶋、中原(正)、中原(俊)、中村、中山、西田、西野、西向、西村(晶)、西村(美)、野原、祓川、附野、保木、前田、實操、三原、村木(正)、安岡、山倉(康)、山倉(知)、和田(敬)								参加者数	46

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

担当者コメント

森本さんの司会により2024年度のEPEの総会が始まりました。まず小椋代表の挨拶です。紀伊本さんの言葉「山の人生は、0メートルから始めて0メートルに終わる」を紹介され、また中国の五行の思想の説の中に人生を青春、朱夏、白秋、玄冬の四つの季節に分け、人はそれぞれの季節においてそれぞれの季節を精一杯生きるべしとあります。ですから皆さんもいずれ0メートルの山に登る事になるのですからその時にEPE(エンジョイ、パワフル、エレガント)して人生をEPEしましょう、とお話し下さいました。次に杉本さんから24年度の例会実施報告があり、本年度は総数612名の方が参加されました。次に前田さんから会計報告があり、会員から少し余剰金が多いのではとの質問がありました。この余剰金は慰霊碑建立の時の返礼金であり、EPEの装備も更新しないといけない時期に来ているので問題はありませんとのお返がありました。次に例会最多参加者表彰があり、それぞれ、大森さん35回、佐野さん31回、小川さん30回にて受賞されそれぞれ賞金を授与されました。司会の森本さんからは、昨年娘さんと登った時の奥穂高岳の話を紹介されました。若い頃は、最後の登りがザイテングレードなどという名前があることも知らず、そもそもこの登りことなど意識もしていなかったのですが、今回はその登りにかなり苦労したそうです。しかし、そんな苦労して登った甲斐があって、翌朝の朝日に焼ける笠ヶ岳の美しさは、長い山の人生で初めての経験であり、高山植物をかき分けながら山を登っていた頃には思いもしなかった感動でした。とお話し下さいました。最後に西野さんの八ヶ岳に移住されたいきさつなどをお話し総会を終りました。しばらくの休憩後、再び森本さん司会により新年の宴が、小椋さんの挨拶・乾杯で始まりました。皆さんご期待のビンゴ大会が、若い方々の協力を得て盛大に行われました。皆さん毎年景品を期待されているのですが、なかなかこの景品選びが難しくご担当の方々、本当にご苦労様でした。宴の最後に小椋さんの中締めにより今年の報告会(総会)と新年の宴を無事終了いたしました。記: 榊田 今年の新年会は昨年に続き河内長野荘で開催することができました。報告会は小椋代表の挨拶で始まり、山岳会会長の代理で榊田前会長から挨拶を受けました。例会実施報告では昨年度の例会の参加者が延べ612人を数え賑やかに楽しく実施することができました。会計報告では寄付も頂いたこともあり余裕をもって繰越すことができましたことを参加者の拍手で承認いただきました。その後、例会参加最多賞上位3人の表彰と賞金授与があり、来年は最多賞目指して皆さん頑張って例会に参加してください。また、昨年度は6人の新入会員があり、新入会員の紹介をして休憩となりました。休憩の後、小椋代表の挨拶、乾杯で新年の宴が始まりました。久しぶりに会った人たちと話も弾み楽しい食事・歓談の後、ビンゴガールの登場で待ちに待ったビンゴゲームが始まりました。ビンゴで当たった品物を例会参加で大いに活用してください。また、遠路長野県から参加の西野さんから八ヶ岳の魅力なども紹介・お誘いがありました。山は楽しいですよ、仲間と登れば笑いも出てきます躊躇しないで大いに例会に参加しましょうと宴会も進み盛り上がりましたが名残惜しくお開きといたしました。記: 杉本

連番	1257	例会No.	一般 848	内容	金剛山・カトラ谷	実施年月日	2025/1/19	担当者	森本(善)、飛田
----	------	-------	--------	----	----------	-------	-----------	-----	----------

参加者	中村、谷、村木(正)、村木(と)、山倉(康)、山倉(知)、中山、西村、上野、佐野、大森、有永、杉本、駒井、中原(正)、中原(俊)、實操、祓川、前田、橋本、秦	参加者数	23
-----	--	------	----

担当者コメント

昨日から続く晴天が、今日も一日持ちますようにと念じつつ例会を実施。朝、金剛山方面は青空でした。9:00金剛登山口バス停前集合。想定以上の参加者が南海バスや自家用車から降りてきました。先週のEPE新年登山と新年の宴に参加した方々も多いのですが、張り詰めた冷ややかな空気のためか何故か久しぶりのような新鮮な気持ちになっていました。会員、初参加の方、体験参加の方、そしてSL、L、併せて23人がカトラ谷に向かいました。千早本道ルートとの分岐を左に折れ、林道のゲートで挨拶とルート概要を説明し、初参加の方々の自己紹介後9:47出発。所々凍っているうす暗い林道を30分歩き、セトとの分岐を右に折れ、しばらく行くとカトラ谷に合流。谷の中は岩々の間に雪が積もり冷ややかな沢水の流れる音が聴こえる静かな遡行です。岩肌に凍り付いている氷柱を覗ながら白い息を吐き登る。時おり「沢水凍っている、ツララがある」と楽しそうに独り言をつぶやいている方。ふっと上を向くと樹間と木々の梢の先に真っ青な空がくっきりと眺められた。ここまで誰も出会うこともなく、5m~7mの傾斜の緩い滝(?)をメイン会員によるステップ位置等の助言で越し、少しずつ雪が多くなった谷を23人が長蛇の如く登る。カトラ谷合流点から約40分位の所で、左岸にフィックスロープが設置され雪の付いた狭いトラバースルートを登る。ここでもメイン会員によるルートワークとザイル設置を行い、アイゼンを装着し通過する。参加者としてはスリルあるルートです。その後、梯子を上り、過去に台風等で崩壊した大きな堰堤を超え谷の最後の詰めに入る。樹木に覆われたうす暗い谷筋を登りきると、5月には一面真っ白なニリンソウが咲き乱れる台地着。今は一面雪野原です。台地を通過中、会員から「宿り木が、あの木の梢近くの枝にある」と教えてもらう。23人全員が足を止め、青空と宿り木のある木の梢に向けて顔を上げる。「どれが宿り木ですか、へー、あれが宿り木ですか・・・」と口々に伝えあいながら白い平らな台地をほっと呼吸を整えながら通過し、最後の急登を10分ほど登り11:45頂上広場に到着。頂上は登山者も多く、ここまで誰一人として出会わなかったのが不思議なくらいです。樹氷は観られませんが快晴無風5℃の中、30分ほどのんびりと昼食休憩を摂り雑踏の頂上売店、白い修験道が法螺貝を吹いている転法輪寺そして葛城神社前とおり左手に奈良盆地を眺めながら、久留野峠に向かいました。伏見峠から久留野峠までも我々EPEのパーティーのみでした。雪に覆われた尾根と静寂で凍った樹間の道、とつても清々しい気持ちです。久留野峠から下りきった林道でお世話になったアイゼンを外す。その後、ロープウェイ前バス停まで下り13:15の南海バスに乗り。谷あり、氷あり、ザイル有、雪の樹間、尾根歩き、そして人と出会う事のない静かな金剛山でした。(4月下旬~5月上旬に再度ニリンソウのお花畑を訪れてください。真っ白で可憐な花が一面に咲き乱れています。私も数年前に天気の良いカトラ谷を一人で訪れ、薄暗い谷を抜けた瞬間台地一面に咲いている満開のニリンソウを観た時の驚きは今でも心に残っています。金剛山の頂上直下にこんな場所があったのかと心が癒されます。)

連番	1258	例会No.	一般 849	内容	京都・音羽山	実施年月日	2025/1/26	担当者	前田、杉本
----	------	-------	--------	----	--------	-------	-----------	-----	-------

参加者	池田、島野、中原(正)、中原(俊)、佐野、原(正)、原(康)、安岡、岩本、山崎、山田、山倉(康)、杉山	参加者数	15
-----	---	------	----

担当者コメント

無人の京阪大谷駅に集合して、鰻屋の前を抜けると、逢坂関跡に着いた。ここは滋賀と京都の境で、昔は交通の要衝であった。有名な蝉丸の和歌「これやこの 行くも帰るも わかれては 知るも知らぬも 逢坂の関」の碑の前で、リーダーが出発前の挨拶。目の前の国道1号線を渡り、尾根筋に入る。そこを過ぎると丸太の急な階段が続いた。登り切ったらなだらかな道になる。葉っぱの落とした木々の間より、陽が入ってきて暖かい。汗をかいたので、防寒服を脱いだ。その先に音羽山の山頂があった。今日は天気が良いので、雪の積もった比良山系、比叡山、琵琶湖、京都市街が一望できた。30分程下って、牛尾観音に着き昼食にした。門には大きな赤鬼、青鬼が立っていた。そこから下って、登ったら開山堂についた。(開山堂とは、仏教寺院においてその寺院を開いた僧侶の像や位牌を安置したお堂のことです。)小休止した後、階段の多い急坂を下った。最近膝の調子が悪いので、ストックを使って慎重に降りた。醍醐寺まで降りたら駅までもうすぐ。総門の前で集合写真を撮った後、解散をした。今日は天気が良かったが、今回のコースは桜の季節が1番いいと思う。

連番	1259	例会No.	一般 850	内容	二上山(トトロの道)	実施年月日	2025/2/2	担当者	森本(善)、西村(晶)
----	------	-------	--------	----	------------	-------	----------	-----	-------------

参加者	山倉(康)、中山、島野、祓川、池田、佐野、杉本	参加者数	9
-----	-------------------------	------	---

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

担当者コメント	<p>9:00 当麻寺駅から当麻寺に向け昨夜の雨もあがり、ひんやりとした中、仁王門を目指し通り慣れた参道のをんびりと尽きることはない世間話をしながら歩きました。途中地元出身の参加者から、この近くにぼたんの有名な寺があるなどの説明を聞く。その時の会話再現 A氏:「ぼたんの有名な寺があるねん。」 B氏:「へーそうですか。ぼたんですか、いいですね。」 A氏:「この当麻寺の近くの寺ですねん。」 B氏:「いいですね」 すかさず、C氏:「イノシシと違うぞ。」 空はどんよりとした曇り空。途中大きなため池の土手沿いを歩きながらカモの群れを見学。9:30「トロの道」の入口である鳥谷古墳の裏側から登り始める。傾斜の緩い谷沿いを登る。昨夜の雨で濡れている朽ちかけた小さな橋を2回渡り少しずつ傾斜が増した頃、笹竹で覆われたトンネル状の「トロの道」が現れました。薄暗い笹竹のトンネルをここがトロの道と言いつつも聞かせながら登ると尾根上に出ればと大和三山が見渡せる「ながめ坂」に着く。ベンチがあり格好の休憩場所です。高曇りとなり、空も明るさがまし意外と天気は持ってくれています。休憩後、雄岳への直登ではなく、雄岳と雌岳の鞍部である馬の背に向け平坦なトラバース道を行く。10:20過ぎ馬の背着。赤いサザンカの花が咲いた登山道を登り10:35頃雌岳頂上着。頂上の日時計で集合写真後、大和盆地側に2分~3分降った四阿にて昼休憩休憩中、四阿の前にある餌代に可愛い小鳥がすばしっこく入れ替わりやってきて目を楽しませてくれています。小鳥の存在も目に入らないのか、しっぽを立てたかわいいリスも餌代でヒマワリの種をいつまでも食べ続けていました。最初は可愛かったのですが、逃げもせず、ばくばくとヒマワリの種を食べ続けるあまりの凶々しさに興味も薄らいだころ馬の背にむけ出発しました。計画では、馬の背から佑泉寺を経て當麻寺に下山予定でしたが、地元出身の参加者から大阪側の太子町へ下山したいとの申し出がありました。いつも佑泉寺経由なので、違う道も新鮮と思い急遽大阪側に変更し「万葉の森登山口」に向け降り、途中展望台手前から右に分岐し鈍鶴峰に伸びているダイヤモンドトレイルルートを下山道に選びました。起伏もない、平坦な尾根道を太子町スポーツ公園に向け降る。晴れていれば遠く明石大橋が見える尾根道なのですが、今日のはもやにけむっており阿倍野ハルカスだけは遠くに望まれた。12:30太子町スポーツ公園体育館前着。ここで一応解散としました。この後、初夏には蛸を鑑賞できる唐川、太子温泉前をとおり、最後は聖徳太子御廟のある叡福寺を見学。この寺は聖徳太子墓守護の為に建立された寺院で境内には大きな金堂や二重の塔、大小のお堂がありました。境内奥からさらに石段を上ると叡福寺北古墳があり宮内庁治定の「磯長墓」としての聖徳太子御廟があり手を合わせ、その後、上ノ太子駅に向け長い住宅の中の坂道を降りました。(上ノ太子駅着13:30)今回は計画を一部変更し、奈良県側當麻寺から大阪側の叡福寺に二上山「トロの道」を使って越えました。當麻寺には聖徳太子の弟の名を冠った麻呂子山がり、叡福寺も聖徳太子に云われのあるお寺です。(勝手にこじつけています)奈良県側から大阪側への長大な二上山超えののんびり山行でした。</p>									
連番	1260	例会No.	一般 851	内容 丹生山系・ナダレ尾山~東ノ峰	実施年月日	2025/2/9	担当者	杉本、小椋(勝)		
担当者コメント	<p>4,5日前からこの冬一番といわれた猛烈寒波に日本中が覆われ、街中から離れると山の中は2cm程度の積雪がありました。今回歩いたルートは踏み跡が薄く落葉と積もった雪でルートの見分けが難しくなり、いつもより地図を見ることが多くなって時間も余計かかるようになりました。取り付きの神社付近から登山道を探すことになりました。地図にある山名も山名板がなくルート上の標識や山名板が1カ所あっただけで地点確認が必要でした。天下辻まで来ると道もはっきりするようになりました。鰻ノ手池と変わった名前が地図に書かれていたので興味があったが、表示板もなく名前の由来が不明であった。見た目は普通のため池のようです。東ノ峰でルート上唯一の山名板があったものかまぼこ板のような物にお愛想程度に書かれているだけでした。東ノ峰付近は山頂を中心に柏尾城塞群の遺構の堀切や土塁、数段の削平地が残っているようです。ここから青葉台の住宅街に向けての下りで今回初めて視界が開け神戸方面の街並みや瀬戸内海が見えるようになりました。展望のない所を歩いてくるとうれしいものです。</p>									
連番	1261	例会No.	一般 852	内容 ベーシック登山No. 81 木津川市・当尾石仏めぐり(浄瑠璃寺~岩船寺)	実施年月日	2025/2/11	担当者	翁長、西村(晶)		
担当者コメント	<p>加茂駅からのコミュニティバスは私たちがほぼ満席となる。浄瑠璃寺前でバスを降りる。バス停には土産物屋さんがある。早速覗いて見た。陶器類が多いようだ。浄瑠璃寺の国宝三重の塔と手前の宝ヶ池は、墨絵のようで古刹の景観を持っている。しかし今は冬枯れで少し寂しい。お寺からすぐの道路沿いに、今回初めての磨崖仏・長尾阿弥陀仏が現れる。道行く人を上から見守るように座っていた。この地域の磨崖仏はおおよそ700年前に作られたとのこと。当尾の石仏群の中でも大門仏谷の如来形磨崖仏は目を見張るような大きな仏さんでした。色々な仏さんがありましたが、ユーモラスな仏は「わらい仏」とその横に埋まっている「ねむり仏」。わらい仏は頭上の岩で「ひしゃがっている」ようで面白い。ねむり仏は頭以外は土に埋まり、毛糸の帽子がかぶられている。誰も掘り出そうとしないのが、これも又面白い。畑の中や道端に大岩を見かける事がたびたびあった。まだまだ知られていない磨崖仏が土中や山中にあるかと思いつつ帰ってきた。</p>									
連番	1262	例会No.	一般 853	内容 奈良街道(伊勢への道)	実施年月日	2025/2/16	担当者	飛田、山倉(康)		
担当者コメント	<p>街道の起点は、「高麗橋東詰」ですが、大阪市と東大阪市を省略してスタートを枚岡神社しました。出発前に読図用シートの課題に取り組んでいただき歩行距離、標高差の確認と歩行時間を推測してもらいました。天気は上々で寒気の谷間にもめぐまれ暗越峠への急登に汗を流しました。峠の茶店は休業中で、小休止の後棚田を眺めながら南生駒を目指し大瀬中学校の玄関先で昼食を摂りました。矢田山遊びの森を抜け、まだ蕾の硬い追分梅林横目で眺み大きな前方後円墳の垂仁天皇陵でタイムアップと判断し、近鉄尼ヶ辻駅で解散としました。目標はJR奈良駅だったのですが交通量の多い事と時間的な事も考慮して中断としました。読図講習会としていたにもかかわらず地図も筆記具も持参されない参加者のあった事は驚きでした。</p>									
連番	1263	例会No.	一般 854	内容 三田・虚空蔵山	実施年月日	2025/2/23	担当者	山倉(康)、杉本		
担当者コメント	<p>列島寒波の影響で雪の覚悟で藍本駅を降りると快晴でした。冷えていますが風はありません、9時10分防寒着を脱いで出発、しばらくのどかな農道を行き舞鶴若狭道をくぐると9時20分登山口です、20分ほど登ると虚空蔵堂です、立派な伽藍の前で一休みして10時30分虚空蔵山着、虚空蔵山は三田市と丹波篠山市の境目にあり昔は岩辻山と言われていたそうでこのお堂が出来たころには虚空蔵堂山とも言われていたそうです、ここから起伏のある稜線を辿り11時50分八王子山着、ここで30分ほど昼食大休止としました、展望の良い山と聞いていましたが頂上の展望はさきますが道中は雑木が茂っており展望が良いとは思えませんでした、草野駅への下り道は急峻でうすら雪が積もっていますので慎重に下り13時10分草野駅にて解散としました。</p>									

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

連番	1264	例会No.	一般 855	内容	紀泉アルプス・組板石山～札立山	実施年月日	2025/2/24	担当者	小椋(勝)、榊田	
参加者	谷 西村(晶) 西村(美) 佐野 三原 村木(正) 村木(と) 中原(正) 小椋(美)								参加者数	11
担当者コメント	先日来の寒波の影響で電車の時刻が乱れるかも？とあれこれ悩んでいたが、無駄な心配に終わり予定通り集合場所へ。箱作駅からバスに乗り桃ノ木台4丁目まで下車、挨拶を済ませ登山道に向かう。登山道から標高が増すにつれ2～3センチの雪化粧、この山でこんなにきれいな雪景色に出会えるなんてと感激しながら歩く。雪の風景を楽しみながら、しばらく歩くと組板石山に着く。組板石山の三角点は本点と言われる大阪府唯一の三角点だ！三角点の説明をしながらふと三角点のことなら三原先輩がいるのではないかと思ひ三原先輩に説明のバトンタッチをする。さすがに三原さん濃い話をしてくれました。組板石山から途中大阪湾や紀州平野を見ながら、大福山、札立山の三角点を見て雪が舞う中平井峠に向かう。平井峠は現在の平井峠から少しずれていて坂道を100mほど登って行くと旧街道の平井峠に着く。旧街道の風情があつてとてもいい雰囲気だ。平井峠から孝子駅に向かう頃には快晴となりのどかな里山の風景を楽しみながら歩き孝子駅で解散する。アップダウンも適度にあり中々歩きごたえある山行でした。									
連番	1265	例会No.	一般 856	内容	六甲・湯槽谷山～石切道	実施年月日	2025/3/2	担当者	杉本、前田	
参加者									参加者数	
担当者コメント	雨天中止									
連番	1266	例会No.	一般 857	内容	京都一周トレイル(東山コース3<蹴上・浄土寺ルート>)	実施年月日	2025/3/9	担当者	飛田、前田	
参加者	池田、神阪、駒井、佐野、杉山、村木(と)、山田、森本(善)								参加者数	10
担当者コメント	ねじりマンボのトンネルを抜けて、まずは南禅寺にお参りし、引き返して京都トレイルのコースに入りました。琵琶湖疎水の関連施設とその水量の豊富さに目を奪われました。日向大神宮を迂回するルートで神明山を経由して七福思案処から大日山への急傾斜を登り読図をしながら大文字四つ辻を目指しました。途中、猟銃を持ったハンターと出くわし驚きました。(こんな場所で、猟銃をブツ放してイイノ？30分ぐらい後に谷間に銃声が鳴り響いていました。)大文字四つ辻で京都トレースから離れ大文字山頂上へ向かいました。頂上付近は京都の街並みを見下ろしながら大勢の人達が昼食を摂っていましたので写真撮影後、五山の送り火で有名な火床に向かいました。火床の弘法大師廟横で眼下に広がる京都市を見下ろして昼食を摂り、大の字の撥ねを経由して哲学の道に至り、ここで解散としました。読図は、回数を重ねていただいた方々が緯度・経度の読み取りや距離の換算及び一時間モデルによる所要時間の算出の精度が上がってきたように感じました。									
連番	1267	例会No.	一般 858	内容	金剛山	実施年月日	2025/3/16	担当者	西村(晶)、森本(善)	
参加者									参加者数	
担当者コメント	雨天中止									
連番	1268	例会No.	一般 859	内容	紀州・高積山～城ヶ峰 歴史探訪シリーズNo.56	実施年月日	2025/3/20	担当者	小椋(勝)、翁長	
参加者	村木(正) 喜多田 上野 祓川 砂山 石上 實操 小椋(美)								参加者数	10
担当者コメント	JR和歌山線 布施屋駅で降りると綺麗な円錐形をした山が目の前に現れる。和佐富士と言われる高積山だ。今回は、その高積山から城ヶ峰～四季の郷公園～伊太祖駅へと向かう工程で途中ちょっとした藪こぎもありルートファインディングもある低山徘徊の魅力満載なコースと参加者に説明をして出発する。時間があるので途中熊野古道の川端王子を経由し江戸時代の大庄屋中筋家を数居が高いので門から見学する。ゆく先々に熊野古道の道標があり参加者の喜多田さんが道標の説明してくれた。聞けば喜多田さんは趣味で熊野古道を徒歩で歩いているらしい。中筋家から高積神社下の宮に向かい、下の宮から参道を高積山頂上へと向かう、参道はコンクリートで覆われていて、コンクリートの急坂を汗をかきながら登ると綺麗で整った石垣が現れ上の宮につく。休憩しながらこの山の財宝伝説は朝日さし夕日輝く……で始まる鉾先山と同じ出とSLの翁長さんが説明してくれました。休憩後、城ヶ峰に向かい藪の中にある三角点を確認し金谷峠に向かう。城ヶ峰から四季の郷公園までは地図には道があるが誰も歩いていないので道がわからない GPSと地図を見ながら進むが途中ちょっとした藪こぎもありやっとの思いで公園に着く。やはり山は面白い楽しい、高い山だけが山ではないとつくづく思う。四季の郷公園で休憩し伊太祖駅へと向かい解散する。									
連番	1269	例会No.	一般 860	内容	京都・愛宕山	実施年月日	2025/3/23	担当者	小椋(勝)、森本(善)	
参加者	村木(と) 上野 中原(正) 中原(俊) 佐野 小椋(美) 原(正) 原(康) 駒井 中川 長谷川 西田 杉山								参加者数	15
担当者コメント	朝早い桂駅は観光客も疎らで、バスも思ったほど混みあわず清滝まで行くことができた。下車後早々に挨拶を済ませ歩き始める。春の陽気の中、わいわいがやがやと清滝川沿いに歩き表参道登山口に着く。ここからはいきなりの階段の急登だ。息を切らせ登って行くうちに春の陽気が初夏の暑さになっていく。上着を脱ぎ歩く、足が短い私にとっては高い石段はきつくとやっとの思いで黒門に着く、あと少しで頂上だ。最後の石段を登り本殿に着く少し見学をして本殿下の広場で食事をして下山する。下山は足取りも軽く水尾分かれを過ぎツツジ尾根に入りしばらく歩くと荒神峠に着く。少し休憩し保津峡駅に向か。ツツジ尾根と言うだけにツツジの木多い 少し遅い時期だとツツジがきれいなのかな、などと考え急坂を下っていく。ガレ場の急坂を下降し保津峡駅に着き解散する。									
連番	1270	例会No.	一般 861	内容	福知山線廃線跡～北摂・大峰山&伊丹・千里川土手	実施年月日	2025/3/30	担当者	野原、飛田、前田	
参加者	三原、池田、山倉(康)、山崎、樋口、佐野、大森、保木、上野、西村(晶)、村木(と)、西野								参加者数	15

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

<p>担当者コメント</p>	<p>私の昔話ですが、泉州山岳会の岩登りトレーニング場と言えば六甲周辺では蓬萊峽、百丈岩、不動岩、堡壘岩などでした。百丈岩や不動岩へは福知山線に乗って武庫川溪谷の景色を見ながら度々通ったものです。新人の頃は今回のサブリーダー飛田さん等から徹底的に岩登りの基礎を叩き込まれました。私が今生きているのはその時のトレーニングのおかげです。1986年に生瀬～道場駅間の旧ルートが廃線、立入禁止となっていたが、2016年にJRが生瀬～武田尾駅間の廃線跡を整備してハイキングコースとして開放、現在に至っています。この廃線跡は一般的には生瀬駅からスタートしますが、私にとって未知の西宮名塩駅をスタート地点に設定。廃線敷入口までは住宅地等を進みます。この廃線跡には6本のトンネルがあり最も長いトンネルは413mでは真っ暗、ライトが無いと進めません。4つ目の長尾山第1トンネルを抜けると親水広場(桜の園)に出ます。そこから大峰山登山が始まります。そこでサブリーダーを足の状態の良くない野原に代わって飛田さん、サブリーダーを前田さんにバトンタッチ。頂上では40人余りの団体と一緒に上がったが、その団体の引率者の振る舞いに飛田さん怒り心頭だったようです。頂上は雪景色であったとのことでした。3月末にこの地域で雪とは珍しい。でもこれも良い経験になったのではないかと。親水広場まで下山後、残り2つの短いトンネルを抜け武田尾駅へ。宝塚駅で阪急に乗換、曾根駅で下車し千里川土手に向かう。ここは以前から「飛行機好きの聖地」と言われている場所。登山とはまったく関係ないが、私の我儘な計画で帰り道に寄り道しました。着陸コース真下に立っていると、数分おきに着陸する飛行機が自分に向かって突入してくる。その圧倒的な迫力に我々を含め集まっていた多くの人たちから歓声が上がりました。こんな場所は他になく人生に一度は体験する価値のある場所だと思います。寒の戻りで寒風吹く寒い1日、真っ暗闇のトンネル、大峰山頂での雪、そして頭上間近を滑空する飛行機と贅沢な1日でした。</p>									
<p>連番</p>	1271	例会No.	一般 862	内容	六甲・東おたふく山	実施年月日	2025/4/6	担当者	榎田、小椋(勝)	
<p>参加者</p>	安岡、小椋(美)、佐野、花田、山倉(知)、村木(正)、山倉(康)、森本、池田、上野、峯岡、西村(美)、西村(晶)								参加者数	15
<p>担当者コメント</p>	<p>現役の頃、天候で山行を実施するかしないかの判断は、現場に行ってから判断せよと教えられました。行く前に天気予報で判断してはいけないう。しかし最近の天気予報は精度が高くなりほぼ当たります。前日には1時間おきの天気予報も出るためそれに従えばほぼ大丈夫です。リーダーの最初の仕事は、天気の判断です。参加者にひんしゅくを受けない為にも最近の天気予報は強い味方です。と言うことで今回もひんしゅくを受けずに済みました。今回の東おたふく山計画段階で、帰りに通る芦屋川左岸にある重要文化財のヨドコウ迎賓館を見学したかったのですが、団体での予約が難しかったので断念しました。ここは近代建築の巨匠、フランク・ロイド・ライトにより100年前に設計され個人邸として建てられたものです。興味のある方はぜひ個人で予約して行って下さい。https://www.yodoko-geihinkan.jp/ 今回は、当初の予報が良くなかったせいか登山者も少なくゆっくりと山行できました。桜の開花も長く続いてくれたおかげで芦屋川沿いの桜は満開でした。山に入るとミツバツツジも満開でした。暑くなる前の今の良い季節に大いに山行を楽しめました。東おたふく山の山頂少し前に木の名前を聞かれたとき、私はプラタナスと言いましたが大間違いでした。おそらく「オオバヤシヤブシ」です。すみません。</p>									
<p>連番</p>	1272	例会No.	一般 863	内容	二上山	実施年月日	2025/4/13	担当者	森本(善)、榎田	
<p>参加者</p>	山倉(康)、西村(晶)、佐野、泉州山岳会2名								参加者数	7
<p>担当者コメント</p>	<p>8:50 今日は大阪万博の初日でしかもブルーインパルスの展示飛行、大阪府山岳連盟主催のダイトレ(スタートが當麻寺近辺)、そして明日は當麻寺練供養とあって記念すべき登山日和です。しかし、天気はどんよりと雨模様。そんな中いつものように通い慣れた参道をのんびりと世間話をしながら歩きました。国宝の當麻寺本堂前で手を合わせ、奥の院を過ぎた堰堤公園から麻呂子山に向け急坂を登り頂上に着く(9:26)。頂から雌岳に続く尾根道をひんやりし乍らも蒸し暑い中、徐々に登りが続くが姫風の坂展望台着。うすすらともやった奈良盆地が見渡せました。空はどんより雲。10:20 約1時間ほど尾根道を辿ると原岳手前のマロコ展望台着。ゆっくりと休憩。参加者間では若いころに登った徳高、屏風岩などの登攀記に花が咲きました。しばらく登ると原岳着(10:44)。頂上を確認して通過する。11:00 岩屋峠着。峠を大阪側に数分下ったところにある大岩をくり抜いた石窟寺院跡(仏教遺跡 8世紀ころ)を見学する。参加者より思い思いの感想を述べ、再度峠に戻り、雌岳への最後の急登後頂上着。11:22 日時計を背に記念撮影。昼食は頂上下の四阿にていつものように彩の野鳥と、いくらカメラを近づけても餌台のひまわりの種とピーナッツを食べ続けるびっくりするほどまるまると太った、人間から逃げない凶々しいリスを観ながらの、のんびりとした昼食です。11:56その後馬の背経由で祐泉寺に向け下山。急坂を下り傾斜が緩くなった登山道沿いに忽然と立っている大銀杏を眺めつつ秋には紅葉パラダイスの祐泉寺着(12:24)。寺の石碑に書かれている文字を参加者で読み解こうとしましたが全文字は無理でした。竹林の中に伏せているシタケの原木や鳥谷古墳を過ぎ、錦鯉がゆつたりと泳いでいる大きなため池の堰堤沿いを歩いて再び當麻寺に帰ってきました。13:22 今日の例会には泉州山岳会の杉山副会長、同じく泉州山岳会員の幸田さんが初参加されました。どんよりとした雲の厚い天気でしたが雨は降りませんでした。ただしブルーインパルスは飛ばなかったようです。明日は練供養です。</p>									
<p>連番</p>	1273	例会No.	OP 401	内容	河口湖・三つ峠山、御殿場・越前岳	実施年月日	2025/4/17~19	担当者	翁長、河合	
<p>参加者</p>	岩本、笠松、花田								参加者数	5
<p>担当者コメント</p>	<p>今回は富士山を北からと南から眺めてみようと言う例会でした。越前岳では幾度となく素晴らしい富士山に出会い、そのたびに撮影タイムにとり、行程がかなりオーバーしてしまいました。しかし楽しかった。4月17日 晴 8:48発「ひかり500号」に早く並んだが意外と空いていた。三島駅には11時過ぎに到着。今日は三つ峠山荘泊なのでシュラフ、テント等不要な荷物は、駅近辺のコインロッカーにデポする。昼食後、予約していた「三島・河口湖ライナー」のバスで河口湖へ。河口湖駅周辺はすこく混乱している。ほとんどが欧米人、少しだけ中近東の人、中国の人は5~6人、日本人は私たちとバスの関係者ぐらい。言葉が分からないのでウロウロしている。タクシー乗り場には20m位並んでいる。事前に連絡しておいたタクシー会社へ電話する。8分で行きますとの事。おお助かり。15時やっとなり登山口着。林道を三つ峠山荘へ。山荘に着いて初めて雪をまとった富士に出会う。スケールの大きさと円錐形の姿に圧倒される。「素晴らしい！」とカメラタイムが始まる。この夜は三つ峠山荘泊。4月18日 晴 早朝の富士山を見ようと4時半起床。ヘッドランプを付け15分位の頂上へ。おぼろ月と富士が闇夜に浮かんでいる。頂上で日の出を待つが思ったより冷えていない。太陽があがってきた。うす雲が太陽の前に出ているので、赤富士は駄目なようだ。日の出というのは、いつも荘厳な気持ちにさせられる。私たちの少し離れた所で山岳修験道の行者がいる。朝日に向い何やら行をしていた。この行者は大峰にも来たことがあるとの事であった。私たち5人は写真を撮りまくっている。何しろ、このような機会はめったに無いし、このために大阪から来ているのだから。感動の連続である。富士の遠望に堪能して小屋に戻る。朝食後は尾根道を河口湖へ。まるで大峰の奥掛道のような心地よさを感じる。ロープウェイ駅近くまで来ると人出が増えてきた。こも外国人が多い。ロープウェイで下山し昼食をとる。河口湖駅に着くと、又また大変な混みようだ。バスの係員はあまりの忙しさに興奮して何か聞くと「あなた方は日本人でしょう！これを見て分るでしょう！」と怒鳴られる。意味不明だが「ハイ」と言うしかなかった。どうにか予約していたバスに乗れて三島へ。コインロッカーにデポしていた荷物を回収し、沼津⇒岩波⇒タクシーにて愛鷹山登山口駐車場へ。テントとツェルトを張り終えてほっとする。この夜は雲が多く雨が気にかかる。明朝、雨だったら登山中止と皆に伝えて就寝。</p>									

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

担当者コメント	<p>4月19日 晴 5時起床、テント・ツェルトを撤収し余分な荷物は藪中にデポ。6時15分出発。今日のクライマックスは黒岳からの富士である。黒岳展望台から今日初めての富士を見る。三つ峠山と同様、富士のスケールと端正な姿に全員「ワァー」と声が出る。山の下から砲撃音がひっきりなしに聞こえてくる。自衛隊の演習場だ。ここからあと少しで黒岳山頂。三角点から振り返ると桜が満開である。桜の後ろには山すそを広げた大きな富士が座っている。桜と富士のコンビネーションは、今回の山行で最もインパクトの強い素晴らしい景観であった。ここでコーヒでも沸かして、ゆっくりと富士を眺めていたが、そうもいかず越前岳へ。富士見峠へ下り、上り返して越前岳へ。途中、何パーティにも追い越される、が気にせずノンビリと行く。私たちは1人を除き、80歳前後の高齢者のパーティである。例えるならばローカル・トレインなのだ。越前岳頂上は多くの人で賑わっている。ガイドブックにあったように「年中、ハイカーがあふれる人気抜群の山・・・」と云うのは本当であった。十里木まで富士を正面に見ながらの下山になる。従って撮影タイムが多くなり時間が掛かる。予定の時間を大幅に遅延した。十里木にタクシーを呼び、デポした荷物を回収して岩波駅へ。これで富士を見る山旅は終わった。「胸やけする」ほど素晴らしい富士を堪能してきました。</p>									
連番	1274	例会No.	一般 864	内容	ベーシック登山No. 82 山の辺の道・南コース	実施年月日	2025/4/20	担当者	山倉(康)、榊田	
参加者	前田 谷 山倉(知) 安岡 中村 上野 島野 池田 中山 西村(美) 峯岡 杉山 大森 砂山 中川 西田 長谷川 参加者数 19									
担当者コメント	<p>桜井駅から三輪山の麓を経由して奈良春日山の麓へ奈良盆地の東山麓に続く古道を今日は天理までの南半分を歩きました、日本最古の道のひとつと言われる古道は日本の原風景を思わせる風景が続きます、大神神社の付近では神聖な場所を思わせるような道でした、その先には大和の集落や天皇陵を見ながらアップダウンの少ない道をのんびりと歩きます、奈良県内には初代神武天皇陵から124代目の昭和天皇までの内30の天皇陵があり、そのほとんどが飛鳥地域に点在しますが今日の道沿いにも天皇陵を含め7つの古墳が点在しています、東側に龍王山を眺めるころ西側には生駒山から金剛山の稜線が眺められ大和三山も見られました、石上神宮ではきれいな鶏がたくさん放し飼いされていました、最後は立派な天理教本部前から本通り商店街を抜けて15時天理駅前解散としました、今日もたくさん参加していただき有難うございました。</p>									
連番	1275	例会No.	一般 865	内容	金剛山 ニリンソウ	実施年月日	2025/4/27	担当者	西村(晶)、森本(善)	
参加者	佐野、安岡、池田、大森、島野、祓川、上野、峯岡、村木(正)、村木(と)、實操、橋本、秦、中山、村田、長谷川、西田、谷、駒井、砂山、中川、西向、長井、森本(咲)、森北、山倉(康) 参加者数 28									
担当者コメント	<p>黒梅谷林道よりカトラ谷に入ると今年も大勢の登山者です。砂防ネットをすぎると谷一面に、白いニリンソウが今年も咲いていました。道の両側に溢れそうに白い小さなお花畑が私たちを迎えてくれました。去年は咲いていたヤマシャクはまだ小さなつぼみです。対岸の尾根にも薄赤色の山ツツジも咲いていました。山桜が咲いている国見城跡で昼食後に新緑の山道を久留野峠までの予定でしたが、中葛城山あたりまで寄り道をしてからロープウェイ乗り場まで山道を歩きました。</p>									
連番	1276	例会No.	一般 866	内容	京都一周トレイル④(東山コース4 <浄土寺橋・比叡山ルート>)	実施年月日	2025/4/29	担当者	飛田、山倉(康)	
参加者	有永、池田、佐野、杉山、祓川、原(康)、萩内(体験参加) 参加者数 9									
担当者コメント	<p>大比叡を目指して京都一周トレイル東山コースの最終に臨みました。心地よい風と新緑を愛でながら、今回も読図講習に汗を流していただきました。白川沿いに乗願寺まで行き、日本パプテスト教会病院前の道路から山道に入りました。瓜生山までは特に何もありませんでしたが、これ以降はコース中に多くの道が作られており位置情報を確認しながらてんこ山にも登頂しました。てんこ山から大比叡までは幾つかの深く抉られた沢を渡るルートで雨が降ると難しいルートに豹変することを思いながらアンテナに辿り着き、大比叡を目指すパーティと比叡山ケーブル駅を目指すパーティに別れることになりました。京福電鉄鋼索線(比叡山ケーブル)駅で再び合流して思ったより長いケーブル八瀬駅まで下り、叡山電鉄叡山本線の八瀬比叡山口駅で解散としました。読図は、回数を重ねていただいた方々が緯度・経度の読み取りや距離の換算及び一時間モデルによる所要時間の算出の精度が上がってきたように感じました。</p>									
連番	1277	例会No.	一般 867	内容	金剛山 ヤマシャクヤク	実施年月日	2025/5/6	担当者	西村(晶)、前田	
参加者										
担当者コメント	雨天中止									
連番	1278	例会No.	OP 402	内容	伊豆・天城山	実施年月日	2025/5/9~11	担当者	山倉(康)、榊田	
参加者	上野 原(康) 原(正) 佐野 山倉(知) 村木(と) 小椋(勝) 小椋(美) 泉州山岳会1名 参加者数 11									
担当者コメント	<p>地図には天城山と記されていますが主峰の万三郎岳を含めた天城連山の総称として用いられています、深田久弥の日本百名山にも天城山と表記されています、天城と言えば川端康成の名作を思い浮かべます、わざわざ大阪から遠征するにあたり本来ならばその小説の舞台となった旧天城トンネルを起点として、天城峠から伊豆半島の分水嶺を縦走したかったのですが、入山地から下山地の距離が離れているためアプローチに問題があり、又山中には小屋もなく国立公園内のテント泊も禁止されています、従って今回は北側の天城登山口から主峰を含めた3座をラウンドする計画としました。5月10日 予報通り朝から雨模様です、後半に天気が良いのを期待して出発を後9時20分天城高原ゴルフ場前を出発、杉やヒノキの平坦な樹林帯を約20分歩くと四辻登山口です、雨が幸いしてか湿潤な山肌はシダ類が多く美しい絨毯のようでした、ここから標高差300m足らずに登り10時50分万二郎岳着、稜線に出たので風が強くなってきます、道標はよく整備されていますが登山道は洗堀箇所が多くちょっと注意しなければなりません、馬の背のあたりでは馬酔木のトンネルが有りアマギシャクナゲやアマギツツジが咲き始めていました、風が強い緩やかな稜線を辿り12時30分主峰の万三郎岳に着きました、昼食休憩後シャクナゲコースを5分ほど下ると小岳方面と万三郎岳の分岐に出ます、天城峠方面から縦走をしてここで合流します、雨で時間もないので小岳は諦めシャクナゲコースを下りました、途中長い丸太階段がありますがほとんどが洗堀されており十分注意して下らなければなりません、コースには名前の通りアマギシャクナゲが多く見られ樹林はブナやヒメシャラが目立つ自然林です、万三郎岳から万二郎岳の裾を時計回りにトラバース気味に下ると四辻に合流し15時10分登山口のゴルフ場にきました。5月11日 今日待望の晴です、リフトでしか登れない国の天然記念物大室山へ9時発のリフトで登ると富士山がきれいに見えました。下山後今回の山行を終了し解散としました、皆様お疲れさまでした。</p>									

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

連番	1279	例会No.	一般 868	内容	ベーシック登山No. 83 亀山・行者山	実施年月日	2025/5/11	担当者	翁長、西村(晶)			
参加者											参加者数	
担当者コメント	雨天中止											
連番	1280	例会No.	OP 403	内容	大峰・行者還岳～大普賢岳	実施年月日	2025/5/24～25	担当者	杉本、小椋(勝)			
参加者											参加者数	
担当者コメント	雨天中止											
連番	1281	例会No.	一般 869	内容	京都・三上山、海住山寺	実施年月日	2025/5/25	担当者	前田、榊田			
参加者	山倉(知)、三原、大森、森北、中原(俊)、島野、上野、山倉(康)、佐野、祓川、杉本										参加者数	13
担当者コメント	集合の天王寺駅で待っていると、雨が降り出した。心配していたが、加茂駅に着いた頃に雨がやみホッとする。賀茂駅からしばらく行くと、木津川の大きな恭仁大橋を渡ると、その先はのどかな田園風景が広がっていた。山道を登った所に、広大な広場の恭仁京跡があった。平城京の後、何でここが都になったのか、色々考えながら休憩をした。そこから住宅街を抜けると海住山寺への長い急な坂を登った。海住山寺は国宝の五重塔やヤマモモの巨木、展望台等、見どころが多い。新緑が雨に濡れてきれいだった。神童寺側下到って登山口の冒険の道から登った。急斜面を登ると、三上山に着く。山頂が展望台になっていて、京都南部が見渡せた。下りはいがけの道を行った。途中から竹林になり、里道は分かりにくく、何回も道を間違えながら棚倉駅に着いた。今日は都跡に寺院、山頂の大展望等、見どころが多く、そして誰にも会わない静か山行が楽しめました。											
連番	1282	例会No.	一般 870	内容	一徳坊山・編笠山 歴史探訪シリーズ No.54	実施年月日	2025/6/1	担当者	小椋(勝)、榊田			
参加者	村木(正)、實操、佐野、中山、北山、杉本、谷、中村、上田、大森、山倉(康)、山倉(知)、小椋(美)、前田、安岡、中原(正)、中原(俊)、花田、木下、駒井、秦、橋本										参加者数	24
担当者コメント	河内長野駅でコミュニティバスに乗り中野で下車後、登山道入り口にて大江時親の説明をし、歩き始める。数年ぶりに来た登山道は荒れていてあまり人は入ってない様子だ。しばらく尾根道を歩き直下の急登を登ると一徳坊に到着する。山頂は狭いので南西に降りたところの鉄塔下で岩湧山を眺めながら休憩する。休憩場所から少し引き返し尾根伝いに編み笠山に向かう。途中544.1mの三角点を通り最後の急登を登り編笠山に着く。少し休憩後下山し杉木立の道から府道を加賀田川沿いに歩き伝大江時親邸を訪ねる。今は子孫が住んでいるため見学は邸宅横の碑を拝見するのみとなった。伝大江時親邸後にして少し歩けば神納バス停に着く。バス停で解散し河内長野駅に向かう。今回は新緑の里山を歩きとても気持ちの良い一日でした。											
連番	1283	例会No.	一般 871	内容	笠置山(288m)	実施年月日	2025/6/8	担当者	前田、杉本			
参加者	谷、上野、佐野、山倉(知)、池田、島野、中原(正)、中原(俊)、安岡、森本(善)、山倉(康)、岩本										参加者数	14
担当者コメント	大河原駅を出ると、目の前に雄大な木津川が流れていて、そこに架かる恋路橋を渡る。この橋は沈下橋と呼ばれて、欄干がなく水かさが増すと、上を水が流れて橋の流出を防ぐようになっていて、昔懐かしい趣のある橋である。渡ると直ぐに恋志谷神社に突き当たった。神社で今日の無事を祈って出発した。川沿いに行くと、道の横に小さな十一面観音磨崖仏があった。戦国時代のものらしい。その後木津川から離れて、布目川沿いを行くと颯穴群と言う、水の力で川底の岩盤に出来る円形の穴があちこちに有った。水の力は岩も削る。木津川と関西本線の間を歩いていると、霧囲気が武庫川と福知山線沿いを歩いてみたいで似ているように思った。森本さんが昔、ボルダーリングに来たと言う巨岩群の横でのんびりと昼食にした。ここから笠置山へ急登を登った。山頂周辺は、お寺や奇岩、巨岩が点在する行場を巡り、その後来た道を戻って、笠置駅に着いた。今日は曇り空で暑くもなく、前半は木津川沿いの平坦な道だったが、最後は笠置山の登りや、行場めぐりで山らしくなり、変化に富んだ楽しいコースだった。											
連番	1284	例会No.	一般 872	内容	六甲・シェール槍(669m)～新穂高湖～長峰山(687.8m)	実施年月日	2025/6/15	担当者	榊田、山倉(康)			
参加者	小椋(美)、中原(俊)、杉本、中原(正)、山倉(知)										参加者数	7
担当者コメント	梅雨入りの雨の合間を縫って六甲の西方の山、シェール槍と長峰山を目指します。三宮から神戸の地下鉄新神戸の次の谷上駅からスタートです。いつものことながら取り付きを見つけるまでドキドキするのですが諸先輩の鋭い勘に助けられて簡単に入山出来ました。いかにいつも道標と案内板を当てにしているか、道標がないときに痛感します。阪神高速北神戸線の高架をくぐって炭ケ谷を登ります。石楠花山と瀬池の分岐でまで来て、眺望が望めそうにもなかったのが石楠花山と天狗岩をカットしました。こういう時は皆さんすぐに同意していただけます。生田川の上流が新穂高湖で、八州嶺第三砂防ダムからすこし上がったところで渡渉点がありました。いつもなら石を渡って簡単に渡れるのですが、この日は昨日の大雨のせいでそれも出来ず、結果靴を脱いで浅瀬を渡渉しました。こういう事があると山行に色を添えてくれます。きれいに整備された幅の広いシェール道を行き新穂高湖あたりで昼食を取りました。シェール槍とを目指します。少し岩場を楽しんで眺望も無いので早々に下山しました。このあたには神戸市自然の家がありシェールエミュール(そうぞうのすみか)などといういかにも神戸らしいカフェがあるようです。また摩耶山には日本三第夜景「掬星台」もあります。杣谷峠を通って天狗塚(長峰山)687.8mに来てやっと雲が晴れて神戸の町並みや大阪湾が見通せました。ここからは下山するのみです。今日は谷道あり尾根道あり渡渉ありで、また曇り空のお陰でこの時期にしては涼しい山行が出来ました。											
連番	1285	例会No.	一般 873	内容	高野山参詣道③(町石道)＜ショートコース＞	実施年月日	2025/6/22	担当者	飛田、小椋(勝)			
参加者	上野 中山 村木(正) 村木(と) 森北 山倉(知) (体験参加者)岩谷 南										参加者数	10

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

担当者コメント	橋本市側からの最後のルートを書さを考慮して紀伊細川駅を起点にしました。急峻な崖に構築された駅舎から急こう配の坂を下り、海南に通ずる車道を矢立茶屋まで辿りました。高野山はバイクツーリング族が集う場所なのかエンジンの音が370号線との交差点に響いていました。ここから漸く町石道に入り、木蔭の中の山道となりました。鏡石の手前側の道が崩落していて、これの迂回する為に一旦480号線に30m程アルバイトして100m程進んで、30m程下降して元の道に戻ることになりました。鏡石からは約1時間で待望の大門の前に飛び出すことができました。弁天岳を経由して女人堂に至り、今回も不動坂を下り極楽橋駅で解散となりました。										
連番	1286	例会No.	一般 874	内容	六甲・須磨アルプス	実施年月日	2025/6/29	担当者	野原、杉本		
参加者	山倉(康)、駒井、保木、佐野、山倉(知)、三原、上田、池田									参加者数	10
担当者コメント	NHKの人気番組「プラタモリ」で8年程前にタモリと近江友里恵アナが「カーレーサー」を紹介していました。4月からの例会案を具体化するため地形図を見て、その時の記憶が蘇り、ここを起点に設定。そして阪神淡路大震災30周年の今年、復興のシンボルとして2009年に完成した「鉄人28号モニュメント」を終点に設定とするコースを考えました。「鉄人28号」は♪ビルの町にガオー 夜のハイウェイにガオー・・・♪の歌を私を含め当時の子供たちが胸をときめかせていた番組。電車で新長田駅を通る度になつていた像です。須磨浦公園駅からスタート。「カーレーサー」の運行開始時間に合わせて登高ペースを調整、日本一乗り心地の悪い乗り物として有名な「カーレーサー」に乗車。乗車時間はたったの2分余り、乗車距離91m。アツという間でしたが長年の希望が叶いました。旗振山から鉄拐山を経て「おらが茶屋」で休憩。展望も良く休憩場所として最適な場所だ。おらが茶屋から急勾配の階段を下り高倉台団地(標高138m)へ。昔はここに高倉山(標高291m)があったという。株式会社と言われた神戸市が「山、海へ行く」のキャッチフレーズでこの山の土砂を運んで人工島「神戸ポートアイランド」を造成、その跡地にできたのが高倉台団地です。そのような経緯から縦走路が団地の中を通過しています。高倉台団地から400段の長く辛い階段(100段おきにベンチ設置)を経て梅尾山へ。梅尾山頂の展望台下で昼食。その後、今例会のメイン「須磨アルプス 馬ノ背」です。足場などもしっかりしているのでどうということもない花崗岩の風化した岩場です。横尾山を越えて東山で予定変更、担当リーダーの右膝が悲鳴を上げ始めたため高取山を諦め板宿方面へ下山することになりました。板宿駅を経てJR新長田駅側の鉄人28号モニュメントを目指す。担当リーダー一願の「鉄人28号モニュメント」の足元で解散しました。例会の翌日、兵庫県に「熱中症警戒アラート」が発令、より一層の熱中症対策が必要な時期に突入です。										
連番	1287	例会No.	一般 875	内容	丹波・白髪岳(721.5m)縦走	実施年月日	2025/7/6	担当者	榎田、山倉(康)		
参加者	上野、原(正)、原(康)、安岡、中村、山倉(知)、駒井、保木									参加者数	10
担当者コメント	今年は異常な梅雨明けの早さでしたが、その梅雨明けの高温が続く日に丹波の山に登りました。福知山線の古市駅から9時スタート。白髪岳登山口まで2時間車道を歩きました。炎天下、傘が唯一の日除けになります。登山口から白髪岳までは、1時間ほどで着いてしまいます。頂上直下は、山倉さんの写真にもあるように岩岩でアルパインの雰囲気を楽しめました。白髪岳から松尾山までは、アップダウンの連続で暑い中みなさんご苦勞様でした。松尾山からは、音羽山、狼煙を上げたと思われる火とぼし山を通過、尾根筋をひたすら歩きます。途中広沢城址があります。この城址は、天正3年1575年から信長の命を受けた明智光秀が、この丹波地方を支配していた波多野氏を攻めた時の城跡の一つです。戦いは熾烈を極め3年にも及びました。最後は和睦と称して光秀の策略により波多野氏兄弟は殺され、篠山城に残った兵も城に火を放ち全員自決しました。この広沢城址を降りれば、すぐにJR篠山口駅は目の前です。そんな悲しい歴史のある町ですが、今は静かな田舎町です。そんな丹波篠山を後にして本日の山行を終りました。										
連番	1288	例会No.	一般 876	内容	(ベーシックNo84)大和三山周遊(耳成山139m 天香久山152m 畝傍山198m)	実施年月日	2025/7/13	担当者	山倉(康)、飛田		
参加者	山倉(知) 中山 祓川 保木 上野 池田 谷 中村 杉本									参加者数	11
担当者コメント	大和三山は奈良盆地の南部、飛鳥周辺に聳える3体の山々の総称です。今日は真夏の炎天下の中藤原京跡や橿原神宮を含め散策した5時間余りのハイキングでした。メンバー各自はそれぞれ猛暑対策を施し、まずは耳成山を目指します。市街地の道路を東へ20分ほどで登山口です。ここから10分ほど木立の中を登ると最初のピーク耳成山でした。下山後舗装道路を南へ歩き10時20分藤原京跡、ここからは3山が見渡せ奈良盆地を囲む山々もすべて見渡せます。次の香久山は山と言うよりこんもりとした森のようです、給水休憩後蓮の花畑を見ながら田舎道から登山口へ歩きここから10分程度林の中を登ると香久山です。下山後法然寺で記念撮影と給水をして西へ畝傍山を目指します。本日最長の道路歩き中は自販機で冷たい飲み物を調達でき助かりました。近鉄畝傍御陵前駅を地下道でくぐると畝傍山をめぐる神宮の森がもう少しです。森の中の木陰を選んで歩き、12時50分神武天皇陵着、初代の天皇陵に参拝し今日最後のピークを目指します。今日最長の登りを(20分程度ですが)喘ぎながら登り13時40分畝傍山でした。下山後は橿原神宮に参拝し橿原神宮前駅で14時30分解散としました。猛暑の中皆様お疲れさまでした。										
連番	1289	例会No.	一般 877	内容	ベーシック登山No85)友ヶ島・タカノス山(119.7m)	実施年月日	2025/7/20	担当者	翁長、小椋(勝)		
参加者	安岡、花田、山崎、山田、森北、村木(正)									参加者数	8
担当者コメント	友ヶ島汽船は風速5m以上になれば欠航するとの事であった。 予定通り10時の便に乗船出来たが、帰船は12時30分発の便にしようにと伝えられる。天気は良いのだが午後より風が強まるようだった。島での行動時間が2時間程度になってしまい、タカノス山と第3砲台跡だけに的をぼった。 第3砲台跡は想像していたよりは規模は大きかった。観光客はここまで登って来ないのか人はまばらである。各部屋はトンネルで結ばれており薄暗い電灯が2~3個あっただけで、そこ以外は真っ暗。砲台跡に入った時、誰かが言った「先ほどの3人の兵隊さんを見たか?」と。それ程不気味さを感じさせる所である。 第3砲台跡であったかどうか記憶はハッキリしないが、子供の頃友ヶ島の砲台跡に来たことがある。当時、弾薬庫の入り口には藁や草が覆いかぶさり垂れ下がっていた。怖くて少し離れた所から覗いていた事を思い出した。 タカノス山頂は展望広場に整備されており、そこからは四国、淡路島、うっすらと六甲山も見えている。空のブルー、緑の島、海の色と誠に景観の良い所であった。十分景色を堪能して船着き場に戻る。 予定の半分しか行動出来なかったのが残念であった。										
連番	1290	例会No.	一般 878	内容	リトル比良・岩阿舍利山(686.4m)	実施年月日	2025/7/27	担当者	山倉(康)、小椋(勝)		
参加者	小椋(美) 佐野 森本(善) 森本(咲) 谷 大森 保木									参加者数	9

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

担当者コメント	前日の夕方熱中症警戒アラートの予報は出ていませんでしたので実行することにしましたが、当日集合時に近畿地方全域にアラートが発表されているのに気づきました。集合したからには行くしかないので9時30分灼熱の鹿ヶ瀬バス停を出発。浄願寺付近から田上川左岸を害獣除けのフェンス沿いに20分ほど登って迷いながらもフェンスの扉をくぐり谷沿いを忠実に登ります。GPSとわずかに残るテープと色あせた標布を頼りにクモの巣と格闘して登ること約2時間(コースタイムでは約1時間)。鶴川越に出ました。沢沿いの道は木陰で多少暑さがしのげましたが汗だくになりました。ここからはしっかりした道を30分で12時岩阿闍梨山に着きました。大休止後予定通り起伏のある稜線を辿って近江高島駅までのコースタイムは約3時間です。この暑さではちょっと無理な予感がしましたので鶴川越に戻って林道を下ることになり14時30分元のバス停に下山しました。皆様お疲れさまでした。									
連番	1291	例会No.	一般 879	内容	生駒縦走①(ほしだ園地・むろいけ園地)	実施年月日	2025/7/27	担当者	飛田、榊田	
参加者	祓川、峯岡、南								参加者数	5
担当者コメント	連日、熱中症対策が叫ばれる日本列島、北海道で40度”そんな、可笑しい、あれへんはずや”と思いたい状況の中での例会でした。ほしだ園地のほしのプランコのショット・スポットでお澄ましの写真を撮り、戎公園からふれあいの森を経てむろいけ園地ファミリー・ルートの河内飯盛山に入りましたが時間切れで七曲りコースで野崎観音に下山しました。参加された皆さん本当にお疲れ様でした									
連番	1292	例会No.	一般 880	内容	大峰・モジキ谷	実施年月日	2025/8/3	担当者	山倉(康)、榊田	
参加者	古松 駒井 小椋(美) 大森 上野 中村 中原(正) 中原(俊) 原(正) 原(康)								参加者数	12
担当者コメント	酷暑の中、涼を求めて久しぶりに大峰の沢へ行ってきました。モジキ谷出合いの林道駐車スペースへ車を止めて沢登り装備をフル装備し10時出発、モジキ谷取水口まで踏み跡を辿ります、取水口手前で南谷に間違っ入り1時間ほどロスしました。本谷に戻って30分ほど辿ると7mの滝と手前のゴルジュに遮られます。左岸の壁状を20mほどをトラバースぎみに古いフィックスロープを頼りに巻きますが、ここは安全を確保するためロープを出して一人ずつ登りました。上部は平凡な沢が続きます。昼食休憩後13時、往路の高巻き部でまたロープセットが必要なので遡行はここで終了として下山、15時無事駐車個所に戻りました。沢の道中では大阪とは別世界の爽やかな涼しさを満喫出来ました。									
連番	1293	例会No.	一般 881	内容	京都一周トレイル ⑤(西山コース2 <松尾山ルート>)	実施年月日	2025/8/10	担当者	飛田、野原	
参加者	佐野								参加者数	3
担当者コメント	猛暑が一段落して慈雨の渡月橋は韓国・中国系の外国人が多いと感じられました。京都一周トレイルも東山を終え西山に移りました。予想された様な強い雨脚ではなくショボショボの雨で暑さ凌ぎにはまずまずでした。参加された佐野さんはご自身で読図用の地図を作成され持参されていました。確認ポイント緯度・経度の読み取り、水平距離の算出、一時間モデルによる歩行時間想定もほぼ一致していました。読図講習会第一号の卒業生誕生です。これからは自信を持って地図を片手に山を楽しんで下さい。									
連番	1294	例会No.	一般 882	内容	金剛山・ツツジオ谷	実施年月日	2025/8/17	担当者	西村(晶)、山倉(康)	
参加者									参加者数	
担当者コメント	熱中症警戒 アラート中止									
連番	1295	例会No.	一般 883	内容	ベーシック登山No. 86 奈良 三輪山・大神神社	実施年月日	2025/8/24	担当者	榊田、前田	
参加者									参加者数	
担当者コメント	熱中症対策 登拝中止									
連番	1296	例会No.	OP 404	内容	中央アルプス 木曾駒ヶ岳、宝剣岳	実施年月日	2025/9/6~7	担当者	西野、小椋(勝)	
参加者	村木(正)、村木(と)、上野、大森、保木、駒井、安岡、中村、小椋(美)								参加者数	11
担当者コメント	9月6日 菅の台バスセンターにて本隊と12時頃合流。その後、バスとロープウェイを乗継ぎ、千畳敷へ。千畳敷は午後から悪天になることが多いが今回は問題ないようだ。人混みの千畳敷を後に乗越浄土へ向かう。11名が一緒に休憩できる所は急登の登り初めぐらいしかなくそこで小休止を取る。途中で立休憩を何回か挟みようやく乗越浄土へ辿り着いた。だが、まだ安心はできない。高度に慣れないハイカーはこれから高山病の症状が現れ始めるからだ。緩やかな登りの中岳を過ぎると木曾駒頂上山荘が眼下に現れた。今日の宿泊地である。チェックインしザックを置いて軽装で木曾駒ヶ岳山頂を目指す。山頂では素晴らしい展望を背景に記念写真。この頂上には祠が二カ所ある。木曾駒ヶ嶽神社の奥社と伊那駒ヶ嶽神社である。伊那の人は木曾駒ヶ岳を西駒と呼び木曾駒とは呼ばないそうだ。昔は信仰の対象となった木曾側ルートだが、伊那側でのロープウェイ開通により形勢は逆転。頂上の二つの祠が反目するかのよう背中合わせなのがうなずける。木曾駒頂上山荘周辺では昨年まで環境省が雷鳥の保護を行っていたが今では個体数が増えたために行っていない。9月7日 夜半までは穏やかで晴れていたが、出発時にはガスと西風が強くなっていた。体調が優れない方もいるのでルートを変更し、中岳を通らずに西側を巻くルートにした。強風の中、宝剣山荘へと向かう。宝剣山荘の東側は風が弱く休憩とアタック準備を行う。ヘルメット着用、ストック収納。風が強いが弱まるタイミングで宝剣山荘を後にする。途中の鎖はガスと風で濡れているが足場がしっかりしているので特に不安はない。いきなり宝剣山頂へ躍り出る。展望はなく写真を済ませ足早に山頂を後にする。乗越浄土のルンゼに入る頃には風も弱まり、登りのハイカーを交わしながら散策路を経由し千畳敷に到着した。									
連番	1297	例会No.	一般 884	内容	金剛山・寺谷	実施年月日	2025/9/7	担当者	西村(晶)、前田	
参加者	佐野、池田、島野、實操、橋本、秦、森北、山倉(康)、杉本、谷、森本(善)、山倉(知)、西村(美)、翁長								参加者数	16
担当者コメント	大阪の夏は暑い、涼しさを求めて谷沿いの山道より登り始めました、水の流れを聞きながら少し登った所で小休憩、谷筋の登山道は少し涼しさを感じます。夏の登山は水分を補給をして熱中症対策が必要です。山頂広場の標高は1,100m涼しさを感じながら昼食後は久留野峠まで、冷気を含んだ涼しい風が身体を通り過ぎて行きました、秋はもうそこまで来ています。									

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

連番	1298	例会No.	OP 405	内容	岐阜 白山・平瀬道	実施年月日	2025/9/13~15	担当者	榊田、山倉(康)	参加者数	
参加者											
担当者コメント	雨天中止										
連番	1299	例会No.	一般 885	内容	奈良街道 ② (伊勢への道)	実施年月日	2025/9/14	担当者	飛田、小椋(勝)	参加者数	7
参加者	池田、上野、佐野、山倉(康)、前田										
担当者コメント	<p>早朝の近鉄奈良駅はご多分に漏れず海外のお客様が次々に降車され改札口近傍の案内板に描かれた鹿を指さして「ディア、ディア・・・」と叫んで喜んでいました。行基様の噴水前で出発の写真を撮り、奈良駅前のゴチャゴチャとしてマチャヤを通り抜けJR桜井線(万葉まほろば線)に沿って「京終(キョウバチ)駅」で小休止しました。駅前で天理教の若い人達が説教をする姿がありました。帯解寺は安産祈願が大層な人出でお参りできる雰囲気ではなく、横目で睨んで通り過ぎました。檜(ナラ)神社に近い「櫛本(イチノモト)駅」の読み方で意見見出すも難題でした。雷に注意を払いながら西名阪を潜り、お喋りが過ぎてR169に出てしまい、仕方なく国道沿いに天理駅の交差点まで行くことになってしまいました。天理駅前には数年前の閑散とした景観から駅前高層ホテルが建てられ、駅広場の地下通路が整備され見違える姿になっていました。今回は平地での読図でしたが地図上で緯度経度の感覚をより磨いて欲しいものです。また、地図の濡れ対策の検討も然るべきかと。</p>										
連番	1300	例会No.	一般 886	内容	湖東 長命寺山・鶴翼山(八幡山)	実施年月日	2025/9/21	担当者	杉本、野原	参加者数	17
参加者	原(正)、原(康)、佐野、大森、上野、樋口、山倉(知)、島野、山倉(康)、駒井、中川、喜多田、大岡、實繰、池田										
担当者コメント	<p>長命寺バス停でバスを降りると、目の前が琵琶湖である。そこにはサイクリストが多数集まっている。私たちは長命寺を目指す、それには長い階段が待ち受けている。出発早々808段もの階段を登るには過酷すぎるので、横の林道を長命寺に向かう。約30分で到着し本日の登山の安全を祈願する。長命寺山頂は樹木が茂っていて全く展望がきかない。貧弱で僅かに山名が読めるだけの板があるだけです。奥島山手前に空奏テラスの標識があり行ってみると岩棚が張り出しそこに立つと遮る物が無く琵琶湖や向こうには比良連山が眺められる。180度展望のある絶景だ。越越峠からは林道を百々神社がある北津田集落まで下る。百々神社は長命寺川に架かる渡合橋に現れた大蛇を祀るという社だそうです。ここから鶴翼山(八幡山)まで登り直す。山頂まであちらこちらで琵琶湖が望められ、眺望の良いルートです。</p>										
連番	1301	例会No.	OP 406	内容	上信越 火打山、妙高山	実施年月日	2025/9/26~29	担当者	山倉(康)、森本(善)	参加者数	11
参加者	原(康) 原(正) 駒井 大森 安岡 山倉(知) 森本(咲) 杉本 上野										
担当者コメント	<p>昨年雨で中止した計画を再度企画して実施しました。今回は火打山と妙高山をつなぎ、前泊と後泊を含め4日間とちょっと贅沢な山行となりました。9月26日大阪~笹が峰明星荘の移動日 明星荘泊 9月27日朝まだ暗いうちに起きました。明星荘の前を続々と車が駐車場へ向かって行きます。朝食を済ませ登山口の駐車場へ行くと満車です。慌ただしく登ってゆく人々をしり目に準備を済ませ6時出発、さわやかなブナ林の中にしつらえられた木道を約1時間で黒沢橋着小休止、順調です。ここから15分ほど登ると12曲がり差し掛かり勾配が増えてきました。途中1回の休憩で8時40分富士見平です。このあたりからは紅葉が始まっていました。ここからは又勾配も緩く木道に導かれて約1時間で高谷池ヒュッテです。高木もなく視界が開け広大な湿原の彼方に火打山が迎えてくれます。天狗の庭周辺の景色は草紅葉が始まった大パノラマで圧倒されました。稜線へ勾配が増えますが順調に登り11時45分頂上着。日本海側は雲海に覆われた絶景でした。下山後は茶臼山を超えて14時40分今日の泊地黒沢池ヒュッテ着。この朝食は4時と聞いて早々に就寝しました。9月28日小屋の早い朝食を済ませ明るくなるまで小屋で待機し5時40分出発、今日は上り下りが激しくなります。小屋から約30分の登りで大倉乗越です。外輪山を超えてトラバース気味に30分下ると燕新道分岐で、ここからの登りが急登となります。石ゴロゴロの急登を喘ぎながら登り終ると大展望が待っていました。8時20分頂上着。妙高山頂上からは北アルプスからぐるり1週日本海まで見渡せます。下りは慎重に小屋まで急下降と登り返しを繰り返し11時30分黒沢池ヒュッテまで降りてきました。この先笹が峰登山口まで長い下りが続きましたが14時40分登山口へ全員無事下山し、苗名の湯で疲れをいやしました。山中2日間とも快晴でよかったです。皆様お疲れさまでした。9月29日帰阪</p>										
連番	1302	例会No.	一般 887	内容	生駒縦走 ② (むろいけ園地・くさか園地・ぬかた園地・なるかわ園地)	実施年月日	2025/10/5	担当者	飛田、榊田	参加者数	10
参加者	池田 上田 北山 上野 佐野 中山 三原 島野										
担当者コメント	<p>前回、時間の関係で野崎観音のコースに下山しているため今回は四條畷神社から飯盛山に登り府民の森を繋ぎ生駒山を制覇する予定でした。飯盛山の急登に喘ぎ、当初より想定していたものの雨に歩行を鈍らされて歩行のスピードも一向に上がらず、生駒山登頂は諦めR308に抜けるコースで枚岡神社に下山しました。読図講習会でしたが、地図の準備を除けば、現在位置の確認、歩行距離の算出と所用時間と徐々にマスターされつつあります。しかし、雨対策や必携の筆記具の忘れ等、反省点も多い山行でした。</p>										
連番	1303	例会No.	一般 888	内容	赤坂山	実施年月日	2025/10/12	担当者	山倉(康)、飛田	参加者数	12
参加者	谷 山倉(知) 花田 上野 佐野 大森 安岡 島野 池田 金田										
担当者コメント	<p>電車とバスを乗り継いでマキノ高原に着くと緩斜面のゲレンデはオートキャンパーで埋め尽くされていました。以前はリフトも備えられたファミリースキー場としてにぎわっていたようですが今はリフトを撤去して冬場には雪遊びのゲレンデとして営業されているようです。無雪期には温泉も併設されたリゾートキャンプ場となっているようで、大変賑わっています。10時30分挨拶を済ませて出発し30分ほど急登を登り小休止、勾配が緩くなるころ11時30分ブナの木平の四阿で2回目の休憩を取りました。12時40分栗柄越、高島トレイルの合流点です。すすきの草原状を20分ほど登り13時赤坂山着。台風の影響でしょうか少しかすんでいますが琵琶湖とその対岸の伊吹山も見えました。予定では高島トレイルを辿り寒風経由で下山する予定でしたが時間も押しているため同じコースを下り14時50分登山口に降りました。皆様お疲れさまでした。</p>										
連番	1304	例会No.	OP 407	内容	八ヶ岳 車山、東天狗岳、入笠山	実施年月日	2025/10/17~19	担当者	西野、森本(善)	参加者数	

2025年度('24/11~'25/10)EPEクラブ活動報告

2025/10E現在 小椋

参加者	山倉(康)、榊田、中村、原(正)、安岡、小椋(美)、大森、山倉(知)、原(康)、村木(と)、池田、南、駒井、上野、泉州山岳会 1名							参加者数	17	
担当者 コメント	<p>10月17日 車山肩にて本隊と12時半頃合流。地元民もびっくりに最高の好天に恵まれ全員で車山山頂を目指す。ここ車山は多分私の知る限りでは百名山の中でも最も簡単に登ってしまう山だろう。なぜこんな山が百名山なのだろうか？ここは日本のほぼ中央に位置しているために富士山、南アルプス、中央アルプス、御岳、北アルプスなど日本の主要な山域を一望できる大眺望があるからだろう。この大展望は山座同定をするには最高の場所といえる。この季節は高山植物の種類が少ないのが残念！夏場はニッコウキスゲが咲き誇ると言いたい、近年鹿の食害により保護区域内のみとなっている。山頂には富士山測候所を代替するための気象レーダが設定されている。山頂を後に車へ戻り、買い出し、宿舎(小松山荘)へ移動。原村のもみの湯で温泉を楽しんだ後は小松山荘前の山の幸で夕食タイム。</p> <p>10月18日 小松山荘を6時頃出発。唐沢鉱泉にて全員集合。準備体操を行いこれから黒百合ヒュッテ経由の東天狗岳へと向かう。山頂手前より風が強くなり露岩をかわしながら登っていく。途中、昨年登ったニューや稲子岳など北八ヶ岳の眺望が広がる。その辺りの特徴的な山容は山体崩壊によるダイナミックな動きによるものらしい。頂上付近はガレていて登りにくい。山頂は風が強く写真のみにして足早に西天狗へと進める。一方、西天狗は意外と風が弱く安心して休憩を取ることができた。三角点はこの東天狗にあり西天狗より6m高い。諏訪側の里から見ると東天狗は隠れており西天狗の方が山っぼい。あとはガレ場と樹林帯の中を下降するだけである。第二展望台、第一展望台を過ぎ分岐を唐沢鉱泉へ下り15時頃唐沢鉱泉へ到着。時間的に唐沢鉱泉の温泉は諦め宿舎へと戻る。10月19日 7時半に小松山荘を出発。富士見パノラマスキー場の駐車場にて集合。ゴンドラで山頂駅へ。山頂駅から小雨のためにレインウェアを着用。ここ富士見パノラマスキーはグリーンシーズンはBMXのメッカになる。ゲレンデの周辺に超過激でテクニカルなBMXのコースが設定されており全国規模の大会が行われているそうである。我々は超気楽なハイキングで入笠山を目指す。雨も上がり約40分程度で入笠山山頂へ到着。神様のご褒美か？最初は雨模様だったただけに対岸の八ヶ岳が素晴らしい！同ルートをそのまま戻り、駐車場で解散となった。皆さんご苦労様でした！</p>									
連番	1305	例会No.	一般 889	内容	湖東 太神山・矢筈ヶ岳	実施年月日	2025/10/19	担当者	杉本、小椋(勝)	
参加者								参加者数		
担当者 コメント	中止									
連番	1306	例会No.	一般 890	内容	河内飯盛山 歴史探訪シリーズNo.58	実施年月日	2025/10/26	担当者	小椋(勝)、森本(善)	
参加者								参加者数		
担当者 コメント	雨天中止									
一般例会： 54回／588名 オプション例会： 11回／66名 例会合計： 65回 参加者総数： 654名										